



夢・挑戦

令和7年度 第19号

田鶴小学校 学校通信

令和8年 1月 9日

三学期スタート — まとめと次なるステップへ —

新しい年が明けました。今年度も残すところあと3ヶ月となります。三学期は、今の学年のまとめを行うと同時に、次の学年へのステップアップに向けた大切な準備期間でもあります。6年生には、4月の中学校進学を控えた今、在校生の良き手本として、田鶴小学校の伝統をしっかりと引き継いでくれることを期待しています。また、5年生は4月からいよいよ学校のリーダーとなります。最高学年になるという自覚をもち、頼もしい姿を見せてくれることを願っています。



心をつなぐ「あいさつ」の力

始業式で「あいさつ」についての話をしました。しっかりあいさつのできる子もいますが、あいさつをしてもあまり反応が無い子もいます。改めて「あいさつ」のもつ力について考えてみたいと思います。

あいさつの最大の目的は、相手を大切にすることです。「おはよう」の一言は、「あなたのことを見ているよ」「今日も会えてうれしいよ」という温かいメッセージになります。子どもたちが社会の中で「自分は受け入れられている」という安心感を持って生きていくための第一歩です。

一生モノの「コミュニケーションツール」 あいさつは単なる礼儀作法ではありません。相手との距離を縮める最高の道具です。自分から声をかける勇氣は、将来子どもたちが社会に出たとき、必ず自分自身を助ける力になります。

学校でも家庭・地域でも私たち大人が、最高のお手本となって笑顔で声をかけていきたいですね。「笑顔で、自分から」を、学校と家庭で一緒に育てたいと思います。

※スクールプラン 豊かな心の育成 安心安全な関係づくり

使用したスライド

自分からあいさつ

だれとでもあいさつ

おはようございます



おはよう
ございます



おはようございます



あいさつは
心をつなげる
まほうのことば



地域の方が「先生」！（地域連携）

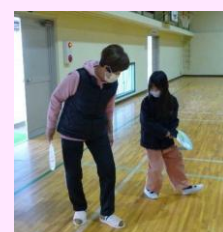
※スクールプラン ふるさとへの愛着を育む 地域と共にある学校づくり

ミシンボランティア① 【6年】（10月17日～28日）



6年生の家庭科では、「生活を豊かにするための布を用いた物の製作」に取り組んでいます。子どもたちにとってミシン縫いは今回が2回目。少し難しい作業もありましたが、地域のミシンボランティアの皆様にご指導いただきました。おかげさまで、どの子も、上手に作品を仕上げることができました。温かいご支援、本当にありがとうございました。

地域に伝わる「盆踊り」の体験 【2年】（11月27日）



本校では毎年、2年生が地域の方々から直接「盆踊り」を教わる学習を行っています。最初は戸惑う姿も見られましたが、地域の方々の優しいご指導のおかげで、徐々にリズムをつかみ、最後はみんな楽しそうに輪になって踊ることができました。こうした体験を通して、郷土の素晴らしい伝統を大切に引き継いでいく心を育んでほしいと願っています。

「田鶴の魅力大発見」矢櫃の歴史 【6年】（12月3日）



6年生は、総合的な学習の時間「田鶴の魅力大発見」において、矢櫃地区の歴史を探究しました。先日は、この地区の歴史に詳しい地元在住の古川友次さんを講師にお招きしました。古川さんは各グループに入り、子どもたちの質問一つひとつに丁寧に答えてくださいました。伝統行事や昔の暮らしなど、インターネット等で調べても分からない貴重なお話を直接伺うことができ、子どもたちにとって地域の魅力を再発見する素晴らしい機会となりました。